会

議

午前10時0分開会

議長（滝内久生君） おはようございます。

出席議員が定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議開催に当たり、欠席したい旨の届出のありました議員は、2番 中村 敦君であります。

ここで報告の件がありますので、局長補佐をして朗読いたさせます。

局長補佐兼庶務兼議事係長（長谷川 薫君） 朗読いたします。

令和4年7月29日。下田市議会議長、滝内久生様。

発議者、下田市議会議員、沢登英信。同、佐々木清和。

議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）に対する修正動議。

上記の修正案を地方自治法第115条の3及び下田市議会会議規則第17条の規定により、別紙の修正案を添えて提出します。

以上でございます。

議長（滝内久生君） ただいまより議会運営委員会を開催いたしますので、委員の方は第1委員会室にお集まりください。

ここで暫時休憩します。

午前10時2分休憩

午前10時6分再開

議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

委員長報告・質疑・討論・採決

議長（滝内久生君） 日程により、昨日、それぞれの常任委員会に付託いたしました議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

これより、各常任委員長から所管の委員会における審査の経過と結果について報告を求めます。

まず、産業厚生委員長、江田邦明君の報告を求めます。

1 番 江田邦明君。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

産業厚生委員長（江田邦明君） 産業厚生委員会審査報告です。

本委員会に付託されました議案は審査の結果、次のとおり議決すべきものと決定したので報告いたします。

1 . 議案の名称。

1) 議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）（本委員会付託事項）。

2 . 審査の経過。

7月28日、第2委員会室において、議案審査のため委員会を開催し、市当局より長谷川産業振興課長、佐々木観光交流課長、平井建設課長の出席を求め、それぞれの説明を聴取の上、慎重に審査を行いました。

なお、委員会での各委員の質疑等の発言の要旨は会議録記載のとおりでございます。

3 . 決定及びその理由。

1) 議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）（本委員会付託事項）。

決定、賛成多数により原案可決。

理由、やむを得ない補正予算であると認めた。

以上でございます。

議長（滝内久生君） 産業厚生委員長は自席へお戻りください。

次に、議第39号については、沢登英信君から会議規則第105条第2項の規定によって、少数意見報告書が提出されております。

少数意見者の報告を求めます。

13番 沢登英信君。

〔13番 沢登英信君登壇〕

13番（沢登英信君） 皆様のお手元の少数意見報告書に基づいて報告をさせていただきます。

令和4年7月28日。下田市議会議長、滝内久生様。

産業厚生委員、提出者、沢登英信。

賛成者、佐々木清和。

少数意見報告書。

令和4年7月28日の産業厚生委員会において留保しました少数意見を次のとおり、会議規

則第105条第2項の規定により報告をするものであります。

議案番号は、議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）であります。

昨日の本会議で資料として明らかにされておりますのは、下田市内公園における複合施設の設置をするんだと。その工事費は4,000万であると。そして、さらに、どのようなものを設置するのかを定めるための委員会、検討委員会と言ったらいいんでしょうか、公園整備検討協議会委員の謝礼として20万4,000円が予算措置されているものであります。

合わせて4,020万4,000円となるものでございますが、審議の中で、数ある公園の中から予定しておりますのは、まどが浜海遊公園、そして敷根公園、汐見台公園の3か所であるということをお知らせいたしました。そして、まどが浜海遊公園に約4,000万のうち3,300万ほどの費用を今のところ想定をしていると。あと2つの、先ほど言いました敷根公園と汐見台公園にどのような配置をするのかということを含めて、公園整備検討協議会委員の人たちに検討していただくんだと。概略こういう内容であったかと思うわけであります。

したがって、計画そのものがまだ非常に曖昧な形で、決定がされていないということがまずもって言えようかと思うわけであります。設置をするだけではなくて、どのように運営管理をしていくのかということも当然、設置の段階で併せて検討していかなければならない課題であろうかと思えます。したがって、4,000万のこの予算措置も十分検討されたものではなく、つかみ金で予算措置をされたら、こう言ってもいい内容が私は含まれているのではないかと思うわけであります。

こういう予算状況の上に、まどが浜海遊公園が果たして遊具を設置することがふさわしい場所かどうかということも十分検討しなければならないところであろうかと思うわけであります。東海地震や大きな津波に対応できるのかと。あるいは、大きな台風や風が吹いてくる、こういう状態の中で、子供たちの遊具をここに設置する工夫、設置するにしましても、そういうものに対応する工夫がどうなされるべきなのかと。こういうことも当然、検討しなければならない課題の一つであろうかと思えます。

したがって、下田港を生かす、しかも、ここの場所は下田港を生かすための大きなポイントでもあるわけであります。まさに海遊公園にこういう遊具を設置することが果たして妥当なのかどうか、ふさわしいかどうかということから検討をしなければならない課題の一つであろうかと思うわけであります。

第2に、この予算は、皆さん御案内のように、国からの歳入を受けて予算措置がされる内容となっているわけであります。7月の臨時会は新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交

付金 1億9,761万6,000円、どのように使ったらいいのかということを審議する臨時会となっているわけであります。そして、この資金はまさにコロナに対応するための資金であります。大ざっぱに言いまして約 1億9,000万、2億としますと、そのうちの半分は通常交付分でありまして、新型コロナウイルス感染症に対応するための費用であると言えます。

そしてさらに、残りの1億円は、このコロナの中で、あるいはウクライナのロシアへの侵入による今日の物価高、暮らしを、営業をどう守っていくのかということにあとの1億円は使ってくださいとあって国が市に交付された金額であります。こういう資金を海遊公園の遊具が必要であるからといって充てるのが予算的に妥当であるのかどうなのか。これは十分吟味をしなければならないと思うわけであります。

昨日の伊豆新聞の報道によれば、27日は21人のコロナ感染者がこの下田で出ていると。今日29日、今日の伊豆新聞の29日時点は、たしか41人の感染者が発生しているということが報道がされているわけであります。しかも市内の公立保育所が1クラス閉鎖をしている。休園と言ったらいいんでしょうか、休クラスしていると。市の職員にまでコロナの発生者が発生している。こういう状況をどう克服していくのかと。コロナの感染をどう食い止めるのかということが喫緊の課題であります。

そのような予算措置がされているならともかく、そのような予算措置は全くゼロであって、その一方で、4,000万円余のコロナ対策に使うべき金が、資金が、遊具の設置に使っていいものかどうなのか。遊具の設置に反対をするものではございませんが、必要であれば、それが必要なときに当初予算なり等々できっちりと予算措置をする。緊急であれば、臨時の対策費があるわけですから、調整基金があるわけですから、そういうものを使うと。こういうことが予算の運営上なされなければならないと。予算運営上も地方自治法に沿った運営がされていないと。こういうことが言えようかと思うわけであります。

したがいまして、今回の予算は、市民生活を、市民の皆さんの営業の、暮らしをどう守るか、あるいは、市民の健康を、コロナからの感染をどう守っていくのかということが課題であるにもかかわらず、その課題に応えようとしていないこの予算は、再提出をしていただくしかない。修正をしていただくしかないとは私は考えるものであります。

しかも、皆さん、重症にならないからといいましても、保育所や小学校、中学校のそれぞれの生徒さんが罹患をし、クラスを閉鎖しなければならないと。あるいは、介護施設等々でクラスターが発生すると。あるいは、病院でさえ、かつて西伊豆病院でのクラスターが発生をする。こういう現状から見ますと、そこに働く看護師さんや保育、保母さんが罹患をしま

すと、その施設は立ち行かなくなるわけであります。日常の診療さえ、保育さえできないと。こういう危険をはらんでいる。危機をはらんでいる。こういう危機意識が全く当局のこの予算措置の中に、残念ながら感じられないと。

ぜひとも今日のコロナの拡大には、きちりとした危機意識を持って、市民の健康、営業をどう守っていくのかと、この観点に立ち返って予算を再度再編成し、早急に提出をし直していただきたいと、こうお願いをするものでございます。

以上です。

議長（滝内久生君） 少数意見者は自席へお戻りください。

産業厚生委員長、登壇願います。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

議長（滝内久生君） それでは、産業厚生委員長の報告に対し、質疑を許します。

質疑ございますか。

9番 進士濱美君。

9番（進士濱美君） 私は総務文教委員会の委員なものですから、この案件につきましては、情報をほとんど得ておりません。昨日からの産業厚生委員会からの漏れ聞く情報及び本日の産業厚生委員長の報告によって判断するしかございません。

そうした中で、コロナ対応交付金、これが現在、武ガ浜中心の公園化に4,000万何がし適用されるというお話を、少数意見としても今ございましたけども、果たして私ども、実は相当大きな公園整備計画になるんだろうと想过いおりましたが、ほとんど情報あるいは計画についての問合せを受けていない中で、本日判断をしてくれということになるんだろうと思いますが、こういった審議の仕方が果たして議会として成り立つのか。情報を持たない我々に判断をくれと。しかもコロナ対応の巨額の金額を公園化のほうに、ある意味、本音のところでは転用すると見られてもやむを得ない。そう想过いおります。

今回の臨時給付金につきましては、特に物価高騰対応ということが中心に盛られてはおりますけども、皆様御承知のように、先日は41名というとんでもない数字を我々は経験してるわけですよ。そうした中で、住民も買物すらもう出たくない。しかも、今日のニュースによりますと、政府の医療的見解が相当変わってきている。従来、我々はどこに行っても消毒で間に合わせてきた。今日も継続しておりますけども、実は有力な医療関係者の中では、エアロゾル、いわゆる空気感染というものが主流であるというふうに、相当大きな異論が出ております。よって、政府の中央会議の中でも、コロナ対応につきましては、従来の接触感染、

あるいは飛沫、これから少し加えて、エアロゾル、換気についても十分注意していきましようという項目が増えてきました。それが今日については一気に反対意見が出ておりますけども、そうした中で、下田市の、特に3回目になりますコロナ禍での夏の事業、これを3年目に迎えます。やはり生命線としての、稼ぎの生命線としての海の事業につきまして、それ相応の不安は当然まだ拭い切れておりません。

特に申し上げたいのは、現在の高騰対応支援金、これが昨日の産業振興課長の御説明では、事業者が5万円、個人レベルでも3万円補填するという案を出されておりましたけども、従来の中で、観光事業を含め、それに絡む種々の事業というのが半分近くにまで減っているのが2年半続いております。これに対応する支援事業が何度もなされてきました。しかし、それとてカバーし切れると言えるものではないと。そうした状況の中で、さらに今回コロナの蔓延と、下田市を襲っておるわけです。しかも物価高騰がさらにここに加わっている。これは二重の痛手を住民が耐えているわけですね。

そうした中で、耐えるときに、やはり優先的には、下田住民の中のどこに痛手が一番痛んでいるのかということ私どもは執行部のほうから欲しかった。情報として。補正予算についても、そこに差し向けられるのが当然だろうと考えておりましたが、今回このように、公園維持のほうに4,000万何がし来るということに非常に違和感を覚えます。しかも計画そのものは、私ども総務文教ではほとんど知らない。初めて今、何がしかの説明を受けましたけども、これでは賛否も問い切れない部分がございます。

よって、私は非常に危惧するんでございますけども、一つ参考までにエピソードがございまして、私、たまたま数年前にネットからある観光者の書き込みを見ました。びっくりしたんです。私ども地元では思いもよらず感想を、イメージを持つものだという書き込みがございました。ある若者の観光者たちが車で東京方面から下田にやってきましたと。そして、武ガ浜に来たところで、あの大きなグリーンの庭、それから下田湾の目の前に風車が覆いかぶさっていました。あの例の風車、子供育成事業ですね。あれも何年かございましたけども、あれ自体を私は反対するものではございません。ただ、人工物としての目の前の玄関にあれが、観光者にとっては正反対のイメージを持っていたんです。そういう書き込みがございました。私も地元の間人としてなるほどなと。案外気がつかないところがございますけれども、やはり下田に来る観光客というのは、海の場合は殊に、自然な山と海、人工物から遠ざかった環境、これを求めて来るのが下田の本来の観光の根幹だろうと思います。そうした中で、この整備事業を武ガ浜の中に真っ先に持ってくるという自体にもしばらく疑義を生じます。

よって、かなり詳しい説明をいただきたいと思うんですが、その辺の検討はいつ出来上がるのかという内容につきましては、委員長のほうから少し説明をいただきたいと思います。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

産業厚生委員長（江田邦明君） 下田市議会におけます議案の審査の仕方につきましては、委員会制度を設けておりますので、この件に関する答弁のほうは私からは控えさせていただきます。

竣工という部分につきましては、委員会審査の経過の中で、地方創生臨時交付金を活用するというので、年度内の竣工、2月頃を目標としているという当局からの答弁がございました。

具体的な質問としては今頂いた質問でございましたが、ほかに必要な委員会の審査の内容について、具体的に進士議員から再度質問いただければと思います。

議長（滝内久生君） 9番 進士濱美君。

9番（進士濱美君） 委員長報告の中で、今お答えいただいた中で、委員会で審議するのはそこまでであったということなんですが、私ども本会議の中では、それ以上に説明はいただいておりません。よって、さらにそれを解きほぐす意見の交換あるいは問い、疑義、計画の具体化を求めるのが委員会であろうと。そういうことではないんですか。それを求めていなかったという、今、委員長報告ですけど、じゃあ私たち、それ以外の委員はどうしたらいいんですか。非常に情報もない中での計画の進行、まあ、無理やり判断を求められると。これでは疑義になりませんね。議論に。その辺はどうなんでしょうか。まあこれはね、委員長にその最終的な判断を求めるわけにいきませんが、建設課の担当課長含めて、もう少しじっくりと説明をいただきたいという思いで、私のほうはそれで以上で終わります。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

産業厚生委員長（江田邦明君） 委員会制度を設けておまして、委員長報告の中で、審議の経過の中で疑義があればこの場で御質問いただきたいと思いますが、先ほど進士議員からは事業の完成の見込みという質問のみでしたので、前段ではそのようなお答えをさせていただきました。ほかに具体的に何々についてどのような委員会の中で審査、審議の経過があったかという質問があれば、それについてお答えさせていただきたいと思います。

また、産業厚生委員会では、渡邊照志議員は傍聴という形で委員会に出席しておりました。

もし進士議員がそのような関心をお持ちでしたら、そういう対応の仕方もあったのではないかと私は感じております。質問があれば再度お願いいたします。

議長（滝内久生君） 9番 進士濱美君。3回目です。

9番（進士濱美君） 答えについては、最終的にどういう結果ができるという部分は、一つは私、言ったつもりの中には、それまでに途中経過、目的、その手段、実行、予算措置、それらを踏まえた計画の中での最終的な完成がどの辺まで見込めているのかという内容でございます。

それに対する、質問の内容が酌み切れてないだろうと思うんですが、それから、委員会の傍聴について、この件については、こういうふうな展開が予想できておりません。本会議で4,000万の提示されておりますが、補正の提示がされておりますけれども、当然、委員会の中でその細かい審議がされるだろうと。これを思うのが普通です。これに、この案件に限らず、全てそうであろうと思っておりますので、一つ一つ傍聴する必要はないだろうと思えます。しかも、今回初めて計画が出てきた新議案ですから、そこまで審議が、疑問が及んでいないということでございますから、傍聴は当然しませんでしたが、それを何で傍聴しなかったというのは少し乱暴だろうと私は思います。

以上で私の意見とします。

議長（滝内久生君） 質疑でしょうか。今の進士議員の発言は質疑ですよ。何を質疑されましたか。いまいち分かりませんので、もう一度お願いします。

9番（進士濱美君） ですからね、委員長の報告の中で答えが、私に対する答えに対して意を含んだ、網羅された回答が出てきてないと。最終的にいつ完成するんだというレベルで止まっていると。私はそういう問いをしたつもりはございません。その途中の審議がどうであったかと。最終的にいつ頃をめどに完成をするかという質疑でございました。これが1点ですね。それはもう一度、再度、細部を含めて御回答いただければと思います。

それから、1点ですが、これは質疑ではございませんけど。

議長（滝内久生君） 質疑ですので、質疑以外のことは発言を控えてください。

9番（進士濱美君） しかし、委員長が発言した内容ですよ、これは。私に対して。

議長（滝内久生君） 今行っているのは、委員長に対する質疑です。

9番（進士濱美君） 委員長が発言をした発言ですよ、これは。

議長（滝内久生君） 審議経過の質疑です。

9番（進士濱美君） 何で傍聴しなかったという、いかにもそういった言い方ではございま

せんでしたか。それに対して私は意見を申し上げるんです。当然じゃないですか。ですから、取りあえず委員長、ここは最初の一つ、これについてもう少し最後に。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

産業厚生委員長（江田邦明君） 下田市議会におきましては、委員会の質疑の発言の要旨は会議録記載ということで、会議録自体もございません。よって、この委員長報告の中で、各議員の皆様から具体的な質問を踏まえて、委員長が審議の経過、発言の要旨を答弁させていただいていると思います。進士議員からは具体的な御質問がなかったので、今回、この公園再整備検討協議会委員謝礼及び公園空間整備工事について、委員会の経過のほうを御説明させていただきたいと思います。

まず、委員会では、過去にこのような公園計画については予算化まで、予算化の検討がございましたが、まちづくり景観審議会の中で意見があったということで予算化が実現されました。そういった過去の経緯を踏まえた事業の実現性について、また予算の適正について、また公園設置後の安全の担保を含む維持管理について、各委員から質問がございました。

まず、過去の経緯を踏まえた事業の実現性ということで、こちらは本会議の中でも当局より答弁がありましたが、県の担当者の中では、設置に向けておおむね了解をいただいているという当局からの再度の答弁がございました。

また、まちづくり景観審議会におきましても、既に相談をしており、公園に設置する遊具自体によっては、全てを否定するものではないという協議がされているという答弁をいただいております。

次に、予算の適正について、4,000万という予算でございましたので、具体的にどの場所にどのぐらいの規模でという委員からの質問がございました。当初は公園遊具1基当たりの単価の説明、130万から800万という当局からの答弁でございましたが、やはり議会、委員会として予算を審議するに当たっては、最終的な決定については検討協議会に諮るものであったとしても、当局としての積算根拠を示してほしいという委員からの再度の質問があり、当局からは、あくまで当局の試案という形で説明をいただきました。まどが浜海遊公園に3,300万、また、契約差金等残りの予算で市内の他の公園に設置を検討しているというものでございました。

次に、安全を担保するための維持管理について、こちらについては、具体的には検討協議会の中で具体的な施策等が検討されるものでありますが、この協議会の中で適切な協議がさ

れるよう、委員からの発言としては、安全を担保するための施策を検討いただきたい。また、維持管理についても、設置だけで終わらせず、適切な管理をお願いしたいといった要望等もございました。

加えてですが、景観についての当局からの答弁としては、県が現在行っております景観アドバイザー制度を活用して、この公園遊具設置については、その方も踏まえて検討協議会の中で最終的な協議を進めるといった発言をいただいております。

あと、議員からは、やはり当局からの財源であったり、竣工時期が年度内ということもございしますが、議会への説明であったり、コミュニケーションが足りないのではないかという発言があり、それに対し当局からは、今後、随時事業の進捗について報告をしていくという発言をいただいております。

以上でございます。

議長（滝内久生君） ほかにございますか。

5番 矢田部邦夫君。

5番（矢田部邦夫君） 委員長の報告である程度分かりにくい点もあったので、再度質問させていただきたいんですが、具体的に賛成意見並びに反対意見、どのようなものが出たのか。先ほど説明がありましたけども、ちょっと抽象的で分かりませんでしたので、細かいところを教えていただきたい。お願いします。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

産業厚生委員長（江田邦明君） 議案審査後、討論、採決におきまして、反対意見が2件、賛成意見が1件ございました。

反対意見におきましては、先ほど少数意見の留保の中で沢登議員から発言がありましたとおり、現状のコロナ感染者が多数発生する中で、その対策が優先であるといった内容のもの、また、景観にそぐわないため、本事業については反対するといった発言がございました。

賛成意見といたしましては、今回の予算につきましては、第6波後のウィズコロナの社会を目指した予算内容であり、第7波を踏まえた予算化ではない。公園遊具については、ウィズコロナの中で必要な予算であり、また、年度内竣工が必要な事業であるため、今定例会での予算計上は否めないといった賛成意見がございました。

以上でございます。

議長（滝内久生君） 5番 矢田部邦夫君。

5番（矢田部邦夫君） もう少し知りたいんですけど、その辺で、それ以外にもっと具体的なものは出なかったでしょうか。

議長（滝内久生君） 委員長。

〔産業厚生委員長 江田邦明君登壇〕

産業厚生委員長（江田邦明君） 具体的なものの主語がなかったので、私の解釈で、賛成答弁、反対答弁の中での具体的なものということでお答えさせていただきます。

反対意見の中では、先ほど少数意見留保でも出ましたとおり、この公園施設については一般会計の予算の中で進めるべきであるという内容の発言があったことと、景観以外にも、強風の懸念の材料もあるため、事業は見送るべきである。協議会の方針が定まっていない中での予算化なので賛成できない。賛成意見のほうでは、下田市の財政が厳しい中、この臨時交付金を使って公園遊具設置については進めるべきである。

以上、前段では少し要約しての説明になりましたが、これが賛成討論、反対討論の内容の全てでございます。

議長（滝内久生君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） これをもって産業厚生委員長に対する質疑を終わります。

産業厚生委員長は自席へお戻りください。

沢登英信君、登壇願います。

〔13番 沢登英信君登壇〕

議長（滝内久生君） 次に、議第39号に対する少数意見者の報告に対し、質疑を許します。

質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 質疑はないものと認めます。

これをもって議第39号についての少数意見者に対する質疑を終わります。

少数意見者は自席へお戻りください。

次に、総務文教副委員長、鈴木 孝君の報告を求めます。

3番 鈴木 孝君。

〔総務文教副委員長 鈴木 孝君登壇〕

総務文教副委員長（鈴木 孝君） 総務文教委員会審査報告。

本委員会に付託された議案は審査の結果、次のとおり議決すべきものと決定したので報告

します。

1. 議案の名称。

1) 議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算(第5号)(本委員会付託事項)。

2. 審査の経過。

7月28日、第1委員会室において、議案審査のための委員会を開催し、市当局より鈴木企画課長、日吉財務課長、佐々木防災安全課長、糸賀学校教育課長、平川生涯学習課長の出席を求め、それぞれの説明を聴取の上、慎重に審査を行った。

なお、委員会での各委員の質疑等の発言の要旨は会議録記載のとおりである。

3. 決定及びその理由。

1) 議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算(第5号)(本委員会付託事項)。

決定、全会一致で原案可決。

理由、必要な補正予算であると認めた。

以上でございます。

議長(滝内久生君) ただいまの総務文教副委員長の報告に対し、質疑を許します。

質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長(滝内久生君) これをもって総務文教副委員長に対する質疑を終わります。お疲れさまでした。

次に、議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算(第5号)に対して、沢登英信君及び佐々木清和君から、お手元に配付しました修正案が提出されました。

提出者の説明を求めます。

13番 沢登英信君。

〔13番 沢登英信君登壇〕

13番(沢登英信君) それでは、令和4年7月29日。下田市議会議長、滝内久生様。

発議者、下田市議会議員、沢登英信。

発議者、下田市議会議員、佐々木清和。

それぞれ発議をさせていただきたいと思いますが、議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算(第5号)に対する修正動議でございます。

上記の修正案を地方自治法第115条の3及び下田市議会会議規則第17条の規定により、別紙のとおり、修正案を添えて提出をするものでございます。

修正案の1ページを開いていただくと同時に、添付書類、説明資料の5ページ、6ページを併せてお開きをいただきたいと思います。

説明資料の5ページ及び6ページは、3の歳出の項目でございます。7款5項4目都市公園費の報償費及び工事請負費、7節、14節を訂正をするというものでございます。

内容的には、5250事業、都市公園維持管理事業の20万4,000円、これを全額削除するという内容となっているものであります。

そして、この予算は、説明書の1ページに戻っていただきますと分かりますように、地方創生の交付金、コロナのための交付金が3,491万6,000円減額をいたしまして、補正額のところで国庫支出で説明をいたしますと、1億9,761万6,000円を1億6,270万とするものであります。この削除した金額は、先ほど申しましたように、3,491万6,000円となるものであります。そして、繰越金から500万を削減をいたしまして、2,800万を2,300万とするものであります。それに従いまして計も修正をし、3億5,300万を3億4,800万に訂正をするものであります。

さらに、歳出の部分で、先ほど言いましたように、土木費、7款5項都市計画費を20万4,000円を削除しゼロとし、この4,000万を削除しますので、3億988万6,000円が2億6,968万2,000円とするものであります。そして、予備費を使っておりますので、予備費に、28万8,000円を予備費に戻すということになりますので、予備費の補正額11万5,000円が40万3,000円となるものであります。

内容的には、先ほど説明しましたように、20万4,000円、この事業を一括、歳入歳出とも削除をいたしまして、この費用については、ぜひとも当局の努力をしていただいて、コロナ対応の予算を再度早急に出していただくと。こういうことを要請をする内容となっているものであります。

先ほどこの第7次のコロナに対応する予算ではないと、こういう発言もあったかと思うわけではありますが、今日の物価高とコロナ対応にするための予算であることはまず明らかであろうと思うわけであります。第7次の対応するものでないから、この子供たちの遊具の費用に使っていいんだと、こういう論理には、予算措置には当然ならないと思うわけであります。

そして、今日の状況は、皆さん静岡新聞も御覧になっていようかと思いますが、若干紹介させていただきますと、病床率、27日時点で、静岡県など19府県で50%を既に超えたと。28日の内閣官房の集計で明らかとなったということが報道されているわけであります。20日時点で7件だったのに対し、1週間で2倍にこのコロナの感染者が増えていると。50%超えは

一般医療を相当程度制限しなければ適切な医療対応ができなくなるような事態であると。こう報道しているわけでありませう。医療逼迫の目安とされる28日に報告された感染者数は23万3,100人となり、2日連続で1日当たりの過去最多を更新、各地区の医療供給体制は急速に厳しい状況になっているのだと。こういう報道が既にされているわけでありませう。

そして、今日の伊豆新聞によれば、昨日29日には41人の罹患者が出ていると。しかも、市に関連する職員も感染をしていると。こういう報道がなされているわけでありませう。早急に感染対策を実施しなければならないことは明らかであろうかと思ひます。国・県に任せておけばいいというような事態ではないと。当局者の皆さんにはぜひとも危機意識を持ってこの感染防止に取り組んでいただきたいと。そのための予算措置をお願いをしたいと思ひます。

参考までに、通常分交付金に係る交付事業について、財務の日吉課長のほうから頂いた資料を御紹介をしたいと思ひますが、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策、令和2年4月20日閣議決定に掲げられた4つの柱、感染拡大防止と医療供給体制の整備及び治療薬の開発、雇用の維持と事業の継続、3、次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復、強靱な経済構造の構築、これが国が予算を各地方に交付している目的となっているわけでありませう。

そして、これにさらにつけ加えることに、原油価格の今日の高騰、エネルギー・原材料・食料安定供給、新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策、コロナ禍において物価高騰に直面する生活困窮者への支援だと、こういう事業をやりなさいと国は明らかにしているわけでありませう。

これらの基準に照らして1億9,700万余のこの臨時の交付金を子供たちの遊具の設置に充てるのが妥当なのかと。妥当でないことは明らかであろうかと思ひます。こういう観点から、私はこの修正動議を提出をするものでござひます。

議長（滝内久生君） 提出者の説明は終わりましたので、これより修正案に対する質疑を許します。

13番（沢登英信君） 議長、すみません。佐々木清和さんの発議者の提案もござひますので、お願いいたします。発議者2人です。観点が違う提案がござひますので、お聞きいただきたいと思ひます。

〔6番 佐々木清和君登壇〕

6番（佐々木清和君） おはようござひます。佐々木です。

沢登議員の補足となりますが、簡単に申しますと、この予算は、現在、下田でシャッターを閉めずに頑張っている商店の方々、それから観光協会の皆さん、補助金交付されてますが、こういうところに振り向けるべきであるというのが私の総括でございます。

なおかつ、私は以前の経過の中で、県のほうがまどが浜埋立ての経緯の中で、設計にも表れておりますが、自然を大切に作る埋立てをされているというのは実感をしております。その中で、まだ確約が取れてないということでした。あそこへこういうものを造っていいよという、現在交渉中ということでした。委員会の答弁では、そういう不確定なところで4,000万もの遊具を造るのはどうかなと。否定するものではありません。ただ、仮に小さいものを造って、どういう形で皆さんが使ってくれるのかって、そういうところで私は反対をさせていただいてます。事前にやることはまだあるんじゃないかと。それから、この予算をもっと市民のために、市民が直接潤うような予算に持って行っていただければと思います。

それで、なおかつ、歴史を軽視した機械的なものが果たしてあそこへ設置されているのであろうかと。私は田牛から尾ヶ崎まで海岸の道を整備するという感動のまちを持つとしていますが、その中でも下田の港は景観、それから歴史的史跡がたくさんあるところです。この中に果たしてコロナ対策の費用をこの遊具にかけていいのかなという思いで、沢登議員の思いに賛同させていただくものであります。

感動のまち、それから歴史を大切に作るまちという根本的な私の観光の哲学、私の哲学なんですが、それを基準に考えての思いとして、沢登議員の案に賛同させていただくということでございます。

以上です。

議長（滝内久生君） 提出者の説明は終わりましたので、これより修正案に対する質疑を許します。

質疑ございますか。

1番 江田邦明君。

1番（江田邦明君） 修正案説明資料の6ページから質問させていただきたいと思います。

発議者は、4目都市公園費の中の5250事業、都市公園維持管理事業全てを減額修正ということでございます。公園再整備検討協議会委員謝礼、こちらを減額するということは、下田市内の公園整備について協議する必要はないという考えでよろしいのか、質問をさせていただきたいと思います。

市民のために議会は議決していく中で、本定例会前に市民からの多数の署名も頂いており

ます。その中には、商店を営んでいる方、また宿泊業、観光業に携わっている方も含めた多くの署名がございます。そういった中で、実際の整備工事だけでなく、検討協議会の開催までも否定する修正案であるかについて質問をさせていただきたいと思います。

議長（滝内久生君） 13番 沢登英信君。

〔13番 沢登英信君登壇〕

13番（沢登英信君） 私のほうから答弁申し上げますが、これはまどが浜公園に遊具を基本的には造ろうという、こういう考えの下に開かれる公園整備検討協議会であって、下田市内の公園の整備をどうしていったらいいかという全市民的な観点からの審議会でないことは明らかであります。委員会審議の中で検討しているのはまどが浜海遊公園と敷根公園と汐見台公園だと。この3か所に遊具を造るんだと。こういうことで、4,000万のうち、先ほど委員長も言われました3,300万円につきましては、まどが浜海遊公園に充てる予定であると。こういう答弁でございますので、これは、そういう意味では、客観的な立場に立ちました公園整備の審議ではない。こういう審議が必ずしも否定をするものではございませんが、直接的にこのまどが浜海遊公園に関する整備検討をしていこうと、こういうものでございます。そういう内容からいって、一体としての公園工事と、それに対する審議会の委員の皆さんへの謝礼であるというので、削除をいたしました。

必要であれば、私どもの見解は、コロナのための対応の資金ではなくて、本来、市が持っている一般会計の資金で対応していただいたらどうかと。そこに出てきたときに、必ずしも反対をするものではございません。予算措置の趣旨に沿っていないという、この点から、全額削除をするものであります。

ただ、内規的に見れば、繰越金と予備費を使っているのではないかと。こういう議論もあるかと思いますが、そこはむしろ、ここの分だけ残して工事費を削除するというよりも、一括提案をし直していただいたほうが予算措置上はスムーズではないかと。こういう考えの下に、併せて支出額全額を削除を、歳入予算のほうも削除をするという、こういう措置を取ったものであります。

以上です。

議長（滝内久生君） 1番 江田邦明君。

1番（江田邦明君） 発議者のほうから説明もございましたが、現在、予備費で20万強予備費に戻しているということで、財源の付け替えでこの公園再整備検討協議会については令和4年度中に発足させて、令和5年度当初予算でこの公園整備について一般財源を基にして検

討していくという考え方もあると思いますが、そこについては、コロナ予算全体として一括で下げたという考えでよろしいですか。確認で終わります。

議長（滝内久生君） よろしいですか。ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） これをもって修正案に対する質疑を終わります。お疲れさまでした。自席にお戻りください。

以上で委員長報告と質疑、修正案の説明と質疑を終わります。

ここで11時20分まで休憩します。

午前11時8分休憩

午前11時20分再開

議長（滝内久生君） 休憩を閉じ会議を再開いたします。

これより討論、採決を行います。

議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）及びこれに対する修正案を一括して討論に付します。

まず、原案に対する賛成意見の発言を許します。

10番 橋本智洋君。

〔10番 橋本智洋君登壇〕

10番（橋本智洋君） 原案に対して賛成の立場で答弁させていただきます。

まず、この予算計上が決定了したとき、第7波というのは来ておりません。まず物価高、経済安定、ウィズコロナとして日常の生活をしていく、そのための交付金であると理解しております。

また、ウィズコロナとして、今まで自粛をしていました子供たちが外へ出て、感染リスクを考えながら親と子供たちがコミュニケーションを取れる。現状の公園に加えて新たな遊び場所ができることにより、人数の分散による密の回避の効果も期待されると予測されます。また、感染対策を踏まえて、唯一子育て世代の子育てをする環境がこの遊具にあると私は思っております。

その中で、国の交付金、こちらを使って進めようとする、これに対しては、やはりこの予算は妥当であると考えます。そして、何よりもこの予算を通すため、また、この施策を考えるため、関係各課一丸となって議論をし、そして実現に向けて動いているというのはひしひ

しと私は感じております。

さらに、この要望に関して、合計3,896名の要望がありました。これはやはり皆様の言う民意、市民目線、この3,896名というこの要望、民意を酌み取り、そして議会に反映させるのが私ども議員の役目であり、また当局、市長をはじめ当局の役目であると私は感じております。そう思っております。内訳として、下田市が2,835名、そして南伊豆町、河津町で619名、そのほかの地域で442名、これだけの要望があるということは、やはり民意としてしっかり捉えるべきだと私は感じております。よって、この予算案原案は妥当であると考えます。

以上でございます。

議長（滝内久生君） 次に、原案及び修正案両方に対する反対意見の発言を許します。ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） ないようですので、次に、修正案に対する賛成意見の発言を許します。ございますか。

9番 進士濱美君。

〔9番 進士濱美君登壇〕

9番（進士濱美君） ただいま審議されております議第39号に対する修正案、これにつきまして、私のほうは賛成の立場から、簡単ではございますが、述べさせていただきます。

先ほど来、発議者2名より減額の修正をもってその趣旨説明を拝聴いたしました。基本的に私もそのとおりだと賛成する次第でございます。

あえて申しますと、端的に申しますと、やはり主要なポイントと思いますのは、臨時交付金に対する正論としての利用方法、これはさきに説明会でも企画課長より提案されて、議会のほうにもいかがでしょうかという説明会を持っていただきました。そのときにもお答えいたしましたけども、やはり実態を、市内の実態がつかめている行政側の良心に沿ってお願いすると私は申し上げた次第ですけども、それについての補正であろうと思います。

しかしながら、今回、一つだけこの遊具に対する4,000万という、これは県との共同事業になっていくんだろうと思いますけども、これは現在ではないだろうと思います。もちろん反対するものでございませぬが、もうしばらくしっかりと市内における子供の遊び場、活動の場を適切に審議、計画した上で示していただきたいと思います。よって、現4,000万の修正につきましては、よりコロナで傷んでいる部分へ手当てをしていただきたいと。

特に学童保育等は、学校や園の閉鎖、そして、しかもお盆に向かってさらに感染者が増え

るという予測すら出ております。その中でも学童保育あたりが非常に無防備であると。弱い部分が散見されておりますので、ぜひもう一度再検討をお願いする次第でございます。

よって、今回は修正に賛成いたします。

議長（滝内久生君） 次に、原案に対する賛成意見の発言を許します。ございますか。

12番 大川敏雄君。

〔12番 大川敏雄君登壇〕

12番（大川敏雄君） 私は、議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）について、賛成の立場から意見を述べさせていただきたいと思っております。

新型コロナウイルスの感染第7波は拡大の勢いが止まらない現状であります。全国の新規感染者数は、昨日の7月28日の過去最大を更新し、なおかつ下田市においても感染者数も41名となっております。国は本年3月、まん延防止措置の全面解除を表明いたしまして、感染対策を続けながら社会経済活動の回復を段階的に進める方針を示して、現在もその認識を変えてない現状であります。全国の各自治体においても、新型コロナを抑え、経済を回復させなければならない非常に難しいかじ取りが使命となっているのが現状だろうと思っております。

このような状況において、今回、臨時会に提案された予算は、大きく狙いは、一つはコロナ対策、そして、2つ目にはウィズコロナの対策と今後の対策と、こう2つの柱をもって予算が計上されていると私は理解をしております。具体的には、この補正予算の額は1億8,216万6,000円でございます。その主なる財源は、当局からも説明がありましたけれども、令和4年度の当初予算におけるこの臨時交付金の保留分6,700万と、それから、本年度のこの諸般の高騰というようなことで1億3,000万と。この1億9,700万が原資になっているわけです。

そこで、具体的に私は、まず一つは、給食費の無料化をこの8月から来年の3月まで8か月間断行すると。これは私は協議会の中で一番大切なことだということで、今、若い世帯の皆さん方、大変苦しい状況にあるので、それを対応すべきだということで、当局がそれを具体的に予算を提案したということは高く評価をいたします。

2つ目には、原油物価高の対応で約6,400万計上されております。これも国の施策に呼応して対応したということで、評価されると思っております。また、ウィズコロナの対応策として3点上げております。一つは、観光を何とか回復したいというようなことで、それぞれ3項目にわたって施策が展開されておりますが、約2,700万強投ずると。それから、小中学校や、小学校、中学校の、あるいは図書館の図書の充実を図ろうというようなことで1,370万ぐら

い上げていると。

3つ目には、生活環境、いわゆる今この修正案が出ております4,000万円のこのまどが浜の整備でございますけれども、これについて、先ほど少数意見者のこの要否が出されておりますが、まず第1点目は、下田港を生かすためにも、複合遊具の設置をすべき場所としてまどが浜公園はふさわしくないと断定しているわけです。これは私は、この見解にはいささか反対であるというか、異議があります。やはりこの施設は、やっぱり市民によりよいものでなければならないと。そういう意味では、先ほど橋本議員かが話が出されましたけれども、多くの若い市民の皆さん方から、この下田市におけるところのこの種のような公園がないと、機運がないと、こういうようなことで、強い要請があったというようなことで、これについては、いわゆるこの場所を活用することは問題は私はないんじゃないかと、こういう判断をしております。

と同時に、ウィズコロナのこの予算を使うことに異議ありということですが、当局から出されている概要を見ますと、公園に遊具を設置して、ここが大事です。子供たちが心も体も健全に過ごすための場所づくり、時間づくりを支援すると。こういう施策は、私は今日的に、いわゆるコロナで本当に子供たちが外へ出れないというような状況の、厳しい状況の中では、私はこの下田市の現状を踏まえると、そういう施設が全くないと言っても過言でない状況下で対応することは最も大事であると。こういう判断から、賛成をするものでございます。

以上です。

議長（滝内久生君） 不規則な発言はやめてください。

次に、原案及び修正案両方に対する反対意見の発言を許します。ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） 次に、修正案に対する賛成意見の発言を許します。ないですか。

5番 矢田部邦夫君。

〔5番 矢田部邦夫君登壇〕

5番（矢田部邦夫君） 遊具の設置、公園に設置については、私は基本的には考えなければいけないという考えは持っております。しかし、今回の場合については、先ほど産業厚生委員長に質問させていただきました賛成意見並びに反対意見について、まだ一つ私自身が納得いくところまでいっていないということで、原案に対しては反対していくと。

ただ、今、下田市の置かれている状況を、全体の状況、いろんな課題がたくさんございます。その中で、よく考えて対応しなければいけないんじゃないだろうかというふうに考えて

おります。下田市全体として考えた場合、私は今の時点では見送る方向で決断をいたしました。よって、修正動議には賛成するという立場に立っておりますので、よろしくお願いいたします。

議長（滝内久生君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（滝内久生君） これをもって討論を終わります。

これより議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）を採決いたします。

まず、本案に対する沢登英信君及び佐々木清和君から提出された修正案について、起立により採決いたします。

本修正案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（滝内久生君） 起立少数であります。

よって、沢登英信君及び佐々木清和君から提出された議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）に対する修正案は否決されました。

次に、原案について起立により採決いたします。

本案に対する委員長の報告は原案可決であります。本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（滝内久生君） 起立多数であります。

よって、議第39号 令和4年度下田市一般会計補正予算（第5号）は原案のとおり可決されました。

議長（滝内久生君） 以上で、本臨時会に付議されました案件の審議は全て終了いたしました。

これをもって令和4年7月下田市議会臨時会を閉会といたします。

なお、午後1時から議場において下田市議会全員協議会を開催いたしますので、御参集のほどよろしくお願いいたします。

お疲れさまでした。

午前11時38分閉会